



慶應義塾大学ビジネス・スクール

シーフル株式会社

慶應義塾大学ビジネス・スクール M36 期生の廣世丈は、マラソン・ランナー向け商品の卸売事業をはじめた。

問題 シーフル株式会社の設立第 1 期（平成 27 年 3 月期：平成 26 年 4 月 1 日より平成 27 年 3 月 31 日まで）に生じた以下の期中取引を仕訳して、総勘定元帳に転記しなさい（日付と小書きは省略する）。次に、決算整理仕訳を行って、帳簿を締め切り、貸借対照表と損益計算書を作成しなさい。

- 注意事項
1. 円未満の端数は切り捨てること。
 2. 仕訳に使用する勘定科目は次の通りとする。

現金預金	売掛金	繰越商品	未収金
貸付金	建物	土地	車両運搬具
備品	買掛金	借入金	未払金
資本金	繰越利益剰余金	売上	受取利息
仕入	給料	減価償却費	賃借料
支払利息	損益	残高	

本ケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール准教授 村上裕太郎が複式簿記の演習問題として作成した。ケース中の取引は架空のものである。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 村上裕太郎（2015年8月作成）

1. 総額 8,000,000 円を出資し、株式会社を設立した。出資額は全額現金預金とした。

2. 事務所兼店舗用の土地および建物を 15,000,000 円で取得し、建物部分の 5,000,000 円を現金預金で支払い、残額は後日支払う予定（1 年以内）である。

3. パソコン等の事務用備品を購入し、代金 500,000 円は現金預金で支払った。

4. 商品の搬送に使用するトラックを 1,200,000 円で購入し、現金預金で支払った。

5. 田中シューズから、商品 8,000,000 円分を仕入れ、代金は掛とした。

6. 当会計年度の駐車場の賃借料 240,000 円を現金預金で支払った。

7. アルカディアに、商品を4,000,000円で売り上げ、代金は現金預金で受け取った。

8. 佐々木スポーツに、商品を5,000,000円で売り上げ、代金のうち2,000,000円は現金預金で受け取り、残額は掛とした。

9. 田中シューズから、商品5,000,000円分を仕入れ、半額は現金預金で支払い、残額は掛とした。

10. 佐々木スポーツに対する売掛金のうち3,000,000円を現金預金で受け取った。

11. 得意先に3,000,000円を融資した。融資終了時に元利息を受け取る約束である。

12. アルカディアに商品5,000,000円分を売り上げ、代金は掛とした。

13. アルカディアに対する売掛金のうち、4,000,000 円を現金預金で回収した。

14. 田中シューズに対する買掛金のうち、8,000,000 円を現金預金で支払った。

15. 期首に購入した事務所兼店舗用土地・建物のうち、土地部分のみを 10,000,000 円で売却し、代金は後日（1 年以内）に受け取ることにした。

16. 仕入先田中シューズから、15,000,000 円の融資を受け、現金預金として受け取った（1 年以内に返済予定）。

17. 従業員に給料総計 2,500,000 円を支払った。給料は、当社の現金預金で支払った。

18. 得意先に対する貸付金 3,000,000 円について、利息の 100,000 円とともに元本のすべての返済を受け、現金預金とした。

19. 田中シューズからの借入金 15,000,000 円について、そのうちの元本 5,000,000 円を返済し、利息 150,000 円を現金預金で支払った。

20. 当社の期末棚卸商品は、4,000,000 円分であった。

21. 当社の当期末現在保有している有形固定資産の減価償却方法は下記のとおりである。すべて直接法で減価償却を行う（直接法、残存価額はゼロ）。

	取得原価	取得日	償却方法	耐用年数
建物	各自推算	平成 26 年 4 月 1 日	定額法	25 年
備品	各自推算	平成 26 年 4 月 1 日	定額法	4 年
車両運搬具	各自推算	平成 26 年 4 月 1 日	定額法	6 年

22. すべての収益勘定残高を損益勘定に振り替える。

23. すべての費用勘定残高を損益勘定に振り替える。

24. 損益勘定残高を繰越利益剰余金勘定へ移し替える。

25. すべての資産勘定残高を残高勘定へ移し替える。

26. すべての負債勘定残高・純資産勘定残高を残高勘定へ移し替える。

現金預金

売掛金

繰越商品

未収金

貸付金

建物

sample

sample

sample

sample

sample

土地



備品



車両運搬具



買掛金



未払金



借入金



資本金



繰越利益剰余金



sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

売上

sample

sample

sample

sample

sample

受取利息

sample

sample

sample

sample

sample

仕入

sample

sample

sample

sample

sample

給料

sample

sample

sample

sample

sample

賃借料

sample

sample

sample

sample

sample

減価償却費

sample

sample

sample

sample

sample

支払利息

損益

残高

区分	金額(円)	
(資産の部)		
I 流動資産		
現金預金		
売掛金		
商品		
未収金		
流動資産合計		
II 固定資産		
1. 有形固定資産		
建物		
備品		
車両運搬具		
有形固定資産合計		
固定資産合計		
資産合計		
(負債の部)		
I 流動負債		
買掛金		
短期借入金		
未払金		
流動負債合計		
負債合計		
(純資産の部)		
I 株主資本		
1. 資本金		
2. 利益剰余金		
株主資本合計		
純資産合計		
負債純資産合計		

損益計算書

シーフル株式会社

自 平成 26 年 4 月 1 日
至 平成 27 年 3 月 31 日

区分	金額(円)	
I 売上高		
II 売上原価		
売上総利益		
III 販売費及び一般管理費		
給料		
賃借料		
減価償却費		
営業利益		
IV 営業外収益		
受取利息		
V 営業外費用		
支払利息		
当期純利益		

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

不 許 複 製

慶應義塾大学ビジネス・スクール

共立 2015.9 PDF